

岐阜聖徳学園大学看護学研究誌投稿要領

1. 投稿者の資格

投稿者の資格は、看護学部紀要投稿細則第2条に該当する者とする。

2. 投稿原稿の種類と要件

原稿の種類は、総説、原著、研究報告、実践報告、資料、その他の6分野とする。

総説：ある主題に関連した広範囲の文献を総括し、解説した論文

原著：研究論文のうち、独創性に富み新たな知見があり、目的、方法、結果、考察が論理的に述べられているもの

研究報告：原著には及ばないが、研究結果の意義が大きく、主題に沿って論理的に述べられているもの

実践報告：看護学の発展に寄与すると考えられる優れた実践に関する報告

資料：広く看護及び看護教育に貢献する資料的な価値が高い記録・報告

その他：上記のいずれにも該当しないが、公表する価値があると紀要委員会が認めたもの

3. 倫理的配慮

人及び動物が対象である研究は、研究の実施にあたって講じられた倫理的配慮について明記する。研究代表者については、所属先の倫理委員会での承認を受けていることを明記する。所属先に倫理委員会がない場合には、それに代わるものの承認を得ていることを明記する。

4. 投稿の方法

- 1) 投稿原稿は、3部（正本1部、副本2部）とし、副本2部は著者名、所属、謝辞等、投稿者を特定できる事項は削除する。
- 2) 原稿は、プリントアウトしたもので投稿する。
- 3) 投稿論文チェックリストにチェックを入れ、1部を同封する。
- 4) 論文掲載の採否は、査読を経て、看護学部紀要委員会が決定する。
- 5) 紀要委員会の判定により、原稿の修正あるいは原稿の種類の変更を著者に求めることがある。
- 6) 査読を受けて修正した最終原稿を、電子媒体(CD-ROM、USBメモリ等)にテキスト形式又はWindows版Word形式で原稿を保存し、プリントアウトしたものと同時に提出する。電子媒体には、表題、筆頭者名を記載したラベルを貼付する。
- 7) 投稿された原稿は、理由の如何に関わらず返却しない。

5. 執筆要領

- 1) 原稿は和文又は英文とする。ワードプロセッサを用いること。
- 2) 和文による原稿は現代仮名遣いに従い、ひらがな混じりで正確に句読点をつける。
- 3) 原稿はA4サイズ横書きで、1行を全角40文字×40行（1枚、1,600文字）、10.5ポイントの明朝体で作成する。なお、本文にはページ下部中央にページ番号をつける。
- 4) 和文による原稿の1編は、原稿の種類を問わず、本文、文献、図表を含めて、16,000文字(10枚)以内とする。
- 5) 英文による原稿は、和文の文字数制限を適宜換算する。
- 6) 図表は、1点を400文字相当として換算する。それぞれ1枚ごとに作成し、図1、表1、写真

- 1等と通し番号をつけ、本文とは別に一括し、本文中への挿入箇所を、原稿の欄外に朱書により明瞭に指定する。
- 7) 図表を引用する場合は、転載許諾を取り、出典を明記する。
 - 8) 各分野で認められている省略記号以外は、述語の省略はしない。略語を用いて差し支えないが、初出の場合は省略しない。
 - 9) 和文原稿の場合は、外国語はカタカナで、外国人、日本語訳が定着していない学術用語等は原則として活字体の原綴で書く。
 - 10) 度量衡は、原則としてSI単位系(国際単位系)を使用する。
 - 11) 統計処理を行ったときは、統計検定法を明記する。

6. 原稿の構成

- 1) 表紙(原稿1枚目はページ番号をつけない)
 - (1) 希望する論文の種類(原著、総説、研究報告、実践報告、資料、その他)
 - (2) 論文タイトル(和文、英文表記)
 - (3) 著者名、所属機関(和文、英文)
連名の場合は、各著者名と所属機関との対応を*印で明示する。
 - (4) 図表等の枚数
 - (5) 連絡者の氏名、所属機関、住所、e-mailアドレス
 - (6) 別刷必要部数
- 2) 和文要旨及び英文要旨について(ページ番号はつけない)
 - (1) 総説、原著、研究報告の論文には、400文字以内の和文要旨を記載する。
論文タイトル、著者名は記載しない。
最後に、行を変えて3～5語のキーワードをつける。
 - (2) 総説、原著、研究報告の論文には、200words(半角文字)程度の英文要旨を記載する。
英文要旨は論文タイトル、著者名、所属機関、本文の順にダブルスペースで記載する。最後に、行を変えて3～5語のキーワード(英語)をつける。
 - (3) 著者名は「Hanako SHOTOKU」で記し、アルファベット表記を付す。
 - (4) 実践報告、資料、その他の場合は、要旨は記載せず、3～5語のキーワード(和文・英文)をつける。
- 3) 本文(ページ番号1～)
 - (1) 諸言、目的、方法、結果、考察など論文としての形式を整える。
 - (2) 論文の構成をわかりやすくするために、見出しを効果的につける。
 - ① 本文の見出しにおける章・節・項等の順番については以下の通りとする。
I… 1… 1) … (1) … ①…以下は任意とする。
 - ② 「はじめに」や「序論、序説又は緒言」および「おわりに」や「結語」、「謝辞」には、見出し数字・記号はつけない。
 - (3) 本文中における文献の引用方法
 - ① 本文中に著者名を引用する場合は原則として姓のみを記す。
例1 田中(2014)は… Brown(2014)は…
例2 ことが示された(田中, 2014)。 ことが示された(Brown, 2014)。
 - ② 2名以上の著者名については、第1著者のみを示し、残りの著者は“ら”、“et al.”とする。
例1 田中ら(2014)は…

例2 Brown et al. (2014)は…

- ③ 複数の文献を引用する場合は、例のように順に並べ、間をコロンで区切る。

例1 …ことが示された(Brown, 2014 : White, 2012 : 田中, 2010)。

(4) 文献

- ① 文献は、原則としてAPA (American Psychological Association)論文の記載方法に準じて、著者名のアルファベット順に一括して挙げる。
- ② 同一著者の複数の文献は発行年順とする。同一著者、同一年の文献は発行年の後に小文字のアルファベットをつけて区別する。
- ③ 複数の著者の場合、3名までを記載し、4名以降は「他」とする。
- ④ 文献の記載方法は以下の通りとする。

DOI (デジタルオブジェクト識別子)がある場合は記載する。

【雑誌】

著者名(発行年)：表題，雑誌名，巻(号)，最初のページ - 最後のページ。

〈例〉

大見サキエ，宮城島恭子，岡田周一他(2010)：ALLで骨髄移植後再三の退院延期を余儀なくされた小学生の復学支援-初めて介入した調整会議が有効であった事例の検討-，小児がん看護，5，78 - 89.

Anderson, A. K., Christoff, K., Panitz, D., De Rosa, E., & Gabrieli, J. D. E. (2003). Neural correlates of the automatic processing of threat facial signals. *Journal of Neuroscience*, Armony, J. L stimu MRI study. *Neuropsychologia*, 40, 817 - 826.

【書籍】

・単行本

著者(編者)名(発行年)：書名(版)，最初のページ - 最後のページ，出版社名，発行地。

〈例〉

肥田幸子，松瀬留美子，太田和佐他(2008)：女性心理学；現代を女性として生きるために(第1版)，71 - 76，唯学書房，東京。

Calfee, R. C., & Valencia, R. R. (1991). *APA guide to preparing manuscripts for journal publication*. Washington, DC: American Psychological Association.

・編集された書籍の論文あるいは章

その章の著者名(編者名) (発行年)：その章の表題，書名，最初のページ - 最後のページ，出版社名，発行地。

〈例〉

大見サキエ(2010)：慢性疾患の子ども，小児のメンタルヘルス，68 - 81，中山書店，東京。

O'Neil, J. M., & Egan, J. (1992). Men's and women's gender role journeys: A metaphor for healing, transition, and transformation. In B. R. Wainrib (Ed.), *Gender issues across the life cycle* (pp. 107-123). New York, NY: Springer.

【翻訳書】

原著者名(発行年)：原書名，出版社名，訳者名(発行年)，書名，最初のページ-最後のページ，出版社名，発行地。

〈例〉

Rene A. Fesler (2009)：Alicia's Updates ; A mother's Memoir of Pediatric Cancer, Xlibris

Corporation, 大見サキエ, 河合洋子監・訳(2014), アリシア;がんを克服した母娘からのメッセージ, 182 - 185, 幻冬舎ルネッサンス, 東京.

【電子文献】

著者名(入手年月日). タイトル. URL

〈例〉

日本看護科学学会(2015年4月1日検索). 日本看護科学学会誌投稿規程.

<http://jans.umin.ac.jp/cntrbt/pdf/kitei.pdf>

7. 原稿の採否

- 1) 原稿の採否は査読を経て決定する。査読者は紀要委員会が指名する。
- 2) 査読者の判定により、著者に原稿の種類の変更及び原稿の修正を求めることがある。
- 3) 紀要投稿細則および投稿要領に沿わない原稿は受理できない。また、投稿された論文は理由の如何を問わず返却しない。
- 4) 査読回数は原則として2回までとする。

8. 締め切り・刊行

- 1) 原稿の締め切りは10月末日とする。
- 2) 年1回3月刊行とする。

9. 著作権

- 1) 原稿内容についての第一義的な責任と権利は著者に帰属する。
- 2) 著者が自分の論文を引用する場合は、引用論文および初筆論文として研究誌の巻号頁を明示すること。
- 3) 電子化公開など二次的使用に関する権利は本学が著者から委譲されたものとする。
- 4) 投稿に際して、電子化公開など二次的使用に関する権利が本学に帰属することを、著者全員が同意しているものとみなす。投稿者は、共著者全員に本手続きを示し、この点に関する承諾を得た上で投稿するものとする。

10. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料：原則として無料とする。
- 2) 別刷料：30部までは無料、それを超えた部数は有料となる。
- 3) その他必要とした費用は著者負担とする。

11. 研究倫理(二重投稿の禁止)について

本誌に投稿した原稿と同じものを他学術雑誌へ同時期に投稿することを二重投稿と呼ぶ。ほぼ同じデータ群、結果、考察から構成されている場合は二重投稿とみなし受理されない。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年2月1日から施行する。